



5年 学年だより 11月号 R5.11.2



校庭の木々が色づき、秋の訪れを感じる季節になりました。勉強にも運動にもよい気候となり、子ども達の活動も活発になってきているようです。5年生の子供達は、6年生に向けて、人の役に立ったりお手本を行動で示したりできるよう、がんばっているところです。

さて、先日はお忙しい中、参観授業及び学級懇談会にお越しくださり、ありがとうございました。しっかり思考したり表現したりしているところをご覧いただけたのではないかと思います。がんばっていたことを、お家でもしっかりほめていただけると、これからの学習や活動の励みになります。よろしくお願ひします。

## 6年生主催の「Peace 集会」に参加しました

10月31日(火)に6年生主催の「Peace 集会」に参加させていただきました。「平和とは戦争をしていない状態というだけでなく、みんなが幸せな気持ちになっている状態だ」ということを全校に伝えたいという6年生の思いから、実現した集会です。

広島に落とされた原爆についてや核兵器の現状、劇による〇×クイズ「けんかや言い争いは戦争の種だ」、心を落ち着ける方法、歌とダンスなどなど、さまざまな方法で伝えてもらいました。

5年生は、うなずきながら聞いたりたくさんメモを取ったりしながら、真剣に学びました。平和について改めて考えを巡らせるよい機会になりました。5年生の振り返りの一部を紹介します。



〇日常生活の中で起こる「けんか」や「言い争い」を劇にしてくださり、意見が食い違ったときには「ルールを決めること」や「相手の意見を受け入れてから自分の意見を言うこと」や「意見を合体したり順番を決めたりして、どちらの意見も大切にすること」などと教えてもらって、とても納得しました。

〇原爆について話してくださったグループの「戦争とは、罪のない人間が家族を失い、絶望する。それだけでした。」という言葉がとても心に残っており、大切な命が一瞬してなくなってしまったという事実にびっくりしました。

- 前まで戦争は日本には関係ないと思っていたけど、小さな言い争いから戦争が始まるということが分かりました。また、それをなくすには、自分の意見を押し通しすぎないことが大切だと思いました。
- 戦争は、国と国とが戦って決着をつけるものだと思っていた。でも、小さなけんかが大きくなり、戦争につながることもあると分かり、今もどこかで戦争があると考えるとこわくなりました。
- ケンカは悪口を言ったり言われたりするとひどくなっていきます。悪口を言うことは、言われた人を傷つけるだけでなく、言った人の脳にもダメージを与えるということに、なるほどなと思い、怖くなりました。悪口を言ったことがあるので、これから悪口ではなく、意見を言おうと思います。



6年生がつくったリーフレットを持ち帰っています。一緒に本当の平和について、話合ってみていただけるとありがたいです。

## お知らせとお願ひ

### ○野外活動の写真展示及び注文受付について

メールでもお知らせしたように、下記のように写真の展示を行い、注文を受け付けます。ご希望の方は、期日までに担任に提出してください。

(展示期間)

11月2日(木)、11月6日(月)～10日(金) 16:00～18:00

(展示場所)

視聴覚室(B棟3階)

- ・工事の関係で、B棟1階からは上がれなくなっています。A棟3階の東側渡り廊下(給食室側)を通って入室してください。

### ○パワーアップチャージについて

11月2日(木)～8日(水)まで、パワーアップチャージを実施します。前回の結果から、「6メディアは、寝る1時間前に切った。」「7「早寝」ができた。」が課題だと分かってきました。この2点を守ることは、東っ子の課題でもあります。成長期の子ども達にとっても大切なことでもあります。それぞれが立てた目当てに向けて取り組むと思いますので、応援とご協力をお願いします。また、最後に励ましやお褒めのメッセージをお願いします。